



かしわざき

KASHIWAZAKI

# 市議会だより

平成 18 年 7 月 20 日 発行

No. 125

発行  
柏崎市議会  
印刷  
株小田

ホームページアドレスは <http://www.city.kashiwazaki.niigata.jp>



観光遊覧船「はまなす」

## 主な内容

- 主な議案 ..... 2P
- 一般質問 ..... 3~9P
- 議員寄稿 ..... 10P
- 政務調査費会計報告 ..... 11P
- 議決一覧 ..... 11P
- 議会日誌・編集後記ほか ..... 12P

## 六月定例会

市議会六月定例会は、六月十二日から六月二十三日までの十二日間の会期で行われました。

審議した案件は、市長提出二十七件、議員提出五件、請願二件の計三十四件で、この案件すべてを原案可決（承認）しました。

可決した主な案件は、平成十八年度一般会計補正予算、契約の締結（第二中学校校舎改築）、財産の減額譲渡、財産の取得、アメリカ産牛肉の輸入を当面再開せず、BSEの万全な対策を求める意見書等です。

# 旧柏崎トルコ文化村の土地、建物 及び構築物を減額譲渡

六月定例会に、旧柏崎トルコ文化村の施設

土地五万二、三三一余平米

二、四六三万八千円

建物十六件

九、五五一万八千円

構築物八十件

一、九八四万四千円

合計金額

一億四千万円

でウエステックエナジー株式会社に減額譲渡する議案が提出され、議会は出席議員全員の賛成で、これを可決しました。

なお、本件の審議に当たって、議員の中から「買戻特約の登記をすべきではないか」との指摘があり、この議案の採決の前日に、当局から「買



戻特約の登記をする」旨の文書報告がありました。が、議会終了後に「買戻特約の登記はせず、一般の登記をすることとしたい」とのおわびと釈明の報告が六月二十八日の全員協議会で行われました。

一般会計予算を補正  
三億一千万円余を追加

平成十八年度一般会計補正予算が提出され、議会は全会一致で可決しました。

主な追加は次のとおりです。

- ▼電源立地特別交付金返還金(旧トルコ文化村売却) 一億一千四百余万円
- ▼インターネット映像配信事業 一八四万余円
- ▼ワークプラザ整備 一千六百余万円
- ▼施設園芸産地育成百四十余万円
- ▼自主防災組織育成事業(北条) 百万円
- ▼私立幼稚園施設整備補助(中央幼稚園) 五百万円
- ▼比角小学校修繕 一千六百万円

- ▼第一中学校修繕 七百八十万円
- ▼遺跡発掘事業(下境井遺跡) 六千五百万円

## 第二中学校改築へ

第二中学校改築に係る契約議案三件が提出され、議会は全会一致で可決しました。

契約内容は次のとおりです。

- 建築本体工事 請負金額 一億九、六八九万余円
- 契約相手 阿部・石橋特定共同企業体
- 電気設備工事 請負金額 二億一、八四〇万円
- 契約相手 竹内電設・ミタ力特定共同企業体
- 機械設備工事 請負金額 一億六、〇六五万円
- 契約相手 日新設備工業(株)

## 市道九一七号線を改良

市道九一七号線改良工事に係る契約議案が提出され、議会は全会一致で可決しました。

契約内容は次のとおりです。  
請負金額 一億七、四三〇万円  
契約相手 (株)石橋組

## 自然環境浄化センター工事

自然環境浄化センター汚泥脱水機増設工事に係る議案が提出され、議会は全会一致で可決しました。

契約内容は次のとおりです。  
委託金額 二億四、六四〇万円  
契約相手 日本下水道事業団

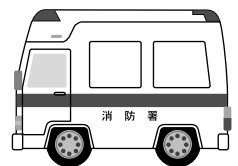
## 土地を取得

学園ゾーン用地を取得する議案が提出され、議会は全会一致で可決しました。  
土地 五万六千余平米  
金額 一億六千余万円  
相手 柏崎地域土地開発公社



## 救急自動車を購入

高規格救急自動車を購入する議案が提出され、議会は全会一致で可決しました。  
金額 一、九百余万円  
相手 新潟トヨタ自動車(株) 柏崎店



## 六月定例会 審議日程

- 6・12 本会議①議案審議
- 13 本会議②一般質問
- 14 本会議③一般質問
- 15 本会議④一般質問
- 16 文教経済常任委員会
- 19 建設企業常任委員会
- 20 厚生常任委員会
- 21 総務常任委員会
- 23 本会議⑤議案採決



# 一般質問

## 市政のここが知りたい 市政にこれを提案したい

(質問の全項目を冒頭に記載、その内容の一部を掲載しました)

### 自主防災組織について



齋木 裕司 議員

一 少子化社会、地方自治体の役割について

(一) 少子化の状況、これまでの取り組みは？

(二) 企業の取り組みは？

(三) 少子化対策の今後の方向は？

二 かしわぎ男女共同参画プランについて

(一) 女性と男性との意識の差、市民への男女共同参画への理解不足、PR不足の現状をどう理解しているのか？

(二) 現在講じている参画プランについて、今後の国・

県の対応を含めて、積極的改善措置(ポジティブ・アクション)はいかに？

三 自主防災組織について

(一) 行政・地区・地域・集落等との連絡・連携は？

(二) 防災活動・防犯活動・交通安全運動との統一組織は？

(三) 補助金のあり方は

市内各町内会で設立が進んでいる自主防災組織については、コミュニティを中心とした組織の設立・育成を考えるべきではないか。地域コミ

ユニティ活動推進事業の中で、防災・防犯・交通安全等安全確保の推進事業があるが、自主防災組織は、それらの活動も行うのか。現在は設立した町内会に補助金交付しているが、コミュニティに対し交付してはどうか。

◎市長

コミュニティでの自主防災活動の取り組みも始まっている。町内会単位の自主防災組織とコミュニティの自主防災活動は役割が少し違う部分があり、お互いに補充し合うものだろうと考える。まずは、避難支援を担う町内会を単位とした自主防災組織を設立していくことに意味があるものと考え。町内会で設立される自主防災組織は、防犯や交通安全とは違った目的・役割を担っている。地域での防災活動に特化した活動を考えて。補助金については、地域コミュニティ活動推進事業補助金交付制度を活用いただき、コミュニティ組織でも広く地域住民の安全・安心のために活動されることを期待する。

一 一般ごみ有料化の平成十九年四月一日実施は、避けることのできない政策決定か

(一) 市民の理解を十分に得られていないと考えるか。また、説明会における市民の声をどのようにとらえているか

(二) 有料化の前に「なすべきこと」を十分に検討したと考えるか。それ以外の方策を考へることはできないのか

(三) 平成十九年四月一日実施の必要性と導入のタイミングは、適切と考えるか

(四) 公的負担の増加・物価上昇の中で、圧迫される市民生活への対策は

二 柏崎市のまちづくりと活性

### 一般ごみ有料化について



荒城 彦一 議員

化における「商工会議所・商工会」の位置づけと役割

(一) 産業振興政策における中小企業対策の基本的考え方とその方向について

(二) 行政運営において、商工会議所・商工会の業務及び活動をどのようにとらえ、その組織と力をいかに活用しようと考えているか

(三) 財政運営の中で、中小企業に関する予算措置は、元氣と活力を醸成するに、適切かつ効果的な配分か

一般ごみの有料化は、市民生活に大きな影響を与えると考える。その趣旨・目的と導入のあり方についての市民間の議論・周知は十分なされたと考えるのか。また、導入前にやることや導入時期は適切か。そして、生活弱者を初め多くの負担増が重なる市民生活への対策、今後の景気動向や社会環境の推移を見極めることの必要性等について伺いたい。

◎市長  
有料化説明会における市民の反応は、冷静に受けとめていただいた。粗大ごみ有料化導入の際に、三年後に段階

### 不法投棄防止について ～条例との整合性は



吉川 英二 議員

的な家庭ごみの有料化実施を伝えてきたことが要因と考える。有料化によって、ごみの排出、分別を意識せざるを得ない。有料化でごみの排出量が削減された先進地の実績がある。市の資源化率が低下傾向にあり、資源化率向上のためにも、有料化は誘因となり、同時にごみの減量化に結びつくと考ええる。導入時期は最終処分場の寿命を勘案し、来年四月からの実施を考える。市民に直接的な負担になり、心苦しい施策であるが、ごみ処理経費の削減、次世代によりよい環境を引き継ぐ施策として必要なことと考える。

一 家庭ごみ有料化について

(一) 説明会の状況と市民の反応は

(二) 不法投棄防止の対応は

(三) 柏崎市環境基本条例第四条及び柏崎市環境クリーン推進条例第三条、第四条と不法投棄防止との整合性はどうか

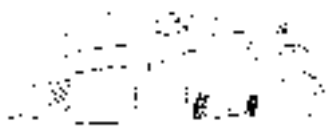
二 景観法への取り組みについて

(一) 景観法に基づく「景観行政団体」への取り組みはできないか

(二) 柏崎駅前の赤レンガ棟の保全とあわせて荻ノ島の「かやぶき」集落の維持保全について、市長の基本的な考えは

(三) 景観法に基づく補助金の交付制度はないか

◎市長  
不法投棄は個人のモラルによるところが大きく、全国的にも有料化が原因で増加する事例は承知していない。本市でも粗大ごみの有料化の前後で不法投棄が増加したということはなかった。各地で問題となっているポイ捨ても不法投棄であり、これをなくすために、ごみが捨てられにくい環境づくりを、環境クリーン推進条例に基づき、市民とともに推進していきたい。また、リサイクルやごみ減量化の必要性、ごみ・資源物の分別や出し方を周知徹底し、防止パトロールの強化や、新たな不法投棄防止対策も考えていきたい。条文は、環境の保全・美化に必要な施策を、市が策定し、実施する責務を述べたものである。家庭ごみを有料化することで、環境が悪化するのではないよう、今以上に、環境美化・保全に必要な施策を実施する。







## 出産・育児がしやすくなる 支援について



池田 千賀子 議員

- 一 出産・育児がしやすくなる支援について
  - (一) 「子供を産まない理由」の中に「出産・育児」に関する経済的負担を挙げている割合が大きいこと
  - (二) まず「出産」に際して経済的負担が大きいこと
  - 二 「こみの有料化」について
    - (一) 「こみの有料化」の法的根拠
    - (二) 子供がいる世帯など、こみの量が多くならざるを得ない世帯の負担
    - (三) (資源物にならない) 剪定枝などのこみ
    - (四) 有料化後のこみ減量の見通し

- (五) 「有料化による減量」は環境負荷を抑制することにつながるか
- (六) 販売事業者との連携
- (七) 環境教育

妊娠・出産に際しては、自分たち夫婦の家計も含めた将来見通しを立て臨むことが多いと思うが、実際に子育てが始まる前の時点で負担感を感じるといふ声を聞く。出産費用は全額を医療機関に支払い、後で一時金が給付されるが、実際には全額を用意しなくてもいい、いろいろな制度がある。しかし、出産を契機に退職すると収入減となり、出産意欲が起きにくい現状があると考えられる。子育てのスタートラインである出産に際しての経済的負担への支援について伺いたい。

### ◎市長

当市では、一部の医療機関と協定を結び、国保加入者の出産一時金については、受領委任払制度を導入している。また、国においても、妊娠・出産における負担の軽減を図るため、出産育児一時金の改善を検討している。子供を産まない理由の一つが経済的問

題であると思うが、少子化の原因は経済的問題がすべてというように単純なことではないと感じる。新かしわざきでも夢ぷらん策定時に実施したアンケートでも、「子育てに関して日常悩んでいること、または気になること」という問いに対し、「子育てで出費がかさむこと」という回答は、約三割であった。このように、少子化の原因は様々な要因が複雑に関連していると考えられるので、今後とも国の施策を見守りながら、出産・育児に対する支援を初め、総合的な取り組みを進めていきたい。

## 人口減についての対策は



加藤 愛子 議員

- 一 高齢者、障害者などを含むだけれども、安心して快適に観光できる街づくりについて
- 二 人口減についての対策は
  - (一) Uターン、Iターン、田舎暮らしを求める人たちに情報発信を
  - (二) 安心して子を産み育てられる環境づくり、子育てしやすい街づくり
  - (三) 医療問題懇談会が回を重ねて進められているが、安心して暮らすために、信頼できる医療機関は欠くことができない。他市に誇れる医療環境整備は、十分人を集める要素でもある

### 市の策定した各種子育て支援策は、子育て中の親はもちろんのこと、

子育て中の親はもちろんのこと、子育てを任せられる祖父母世代への周知に力を入れていただきたい。特に、合併した地域には、すべての事柄について周知に力を注いでもらいたい。少子化の中で、第二子、第三子の妊娠や出産の際には、最初の子供を優先して入園させてもらえたら大変心強いと思う。また、民間事業所は、子育て休業や休暇取得は難しいので、取得しやすいように、市から働きかけ

てほしい。

### ◎市長

出生届の際に、市が実施する子育て支援事業とあわせて、教育分野や県が実施する事業をまとめた「子育て便利帳」を全員の方々に差し上げている。また、平成十七年三月に新かしわざきこども夢ぷらんのダイジェスト版を、合併予定の高柳町・西山町を含めた全世帯に配布し、子育て支援の必要性と支援策概要の周知に努めた。保育園については、定員に達せず、年度途中でも受け入れ可能な保育園があるので、なるべく希望に近い保育園を紹介している。中小企業等に対する子育て支援策として、平成十八年度から創設された中小企業子育て支援助成金制度があり、制度の普及・啓発を図りながら、育児休暇の取得促進を働きかけていく。また、民間事業者を訪問しての子育て支援策の啓発活動や相談など、子育て環境の向上に取り組んでいきたい。





### 登下校時の安全確保 ～路線バス、スクール バスの運用改善



五位野 和夫 議員

一 今回の補助金・負担金の  
見直しにかかわって

(一) 考え方

(二) 見直しの基準

二 子供たちの登下校時の安  
全対策について

(一) 不審者対応

(二) 登下校時の安全確保

路線バス、スクールバ  
スの運用改善

三 地上デジタル放送開始に  
ついて

(一) どんな形で市民生活向  
上につながるかと考えるか

(二) 過酷な商法も心配され  
るが、市民への周知をどの  
ように行うか

不審者の多発などにより、  
登下校時の安全確保の声は日  
増しに高まっている。町内会  
コミュニティや老人会などの  
協力で下校時のパトロールな  
どがされているが、継続性を  
心配する声も聞こえ始めている。  
行政として持続可能な予  
供の安全確保の手立てを講じ  
ることが求められているので  
はないか。子供の安全最優先  
に路線バス・スクールバスの  
対応を、かわる問題があれば  
その問題を解決する立場で  
取り組む時期にきているので  
はないか。

#### ◎教育長

これまでも、スクールバス  
に空席があるなら途中乗車さ  
せてほしい、集落内にバスを  
通して乗車させてほしいなど  
の要望を受けている。スクー  
ルバスに途中乗車することで  
集団登校が崩れることや、全  
員乗車できない場合の安全上  
の問題などがある。路線バス  
の利用は、バス会社の採算性  
を考慮した運行路線・時間・  
本数となっていて、登下校の  
ためだけに運行することは難  
しい。スクールバス運行は安  
全確保に有効な手段の一つで  
あるが、完璧ではないため、

地域のパトロール活動、安全  
マップの作成など様々な対策  
と組み合わせ安全確保を図  
っていきたい。今後も様々な  
ケースを検討し、スクールバ  
スが運行されている地域と運  
行されていない地域との公平  
性、市の財政負担などを見据  
え、総合的に研究を継続した  
い。



### 児童クラブに対する 市の考え方、運営のあり方



飯塚 寿之 議員

一 子供の健全育成について  
(一) 児童クラブに対する市  
の考え方、運営のあり方に  
ついて  
(二) 子供の居場所づくり事  
業（放課後クラブ）の今後  
について  
(三) かしわざき子ども育成  
基金の効果的な使いみち  
について

される社会の実現、地域社会  
の力をかりて、子育てを社会  
全体で支援していく体制の再  
構築というこども夢ぶらんの  
理念に基づき、放課後や学校  
休業日において、保護者等が  
不在の家庭の一年生から三年  
生までの低学年児童の健全な  
育成を図ることを目的に、児  
童クラブを設置している。

新かしわざきこども夢ぶ  
らんの中で、「地域における子  
育て支援サービスの充実」と  
いう位置づけにもある児童ク  
ラブについて、現在でも二十  
名ほどの待機児童がいるが、  
早急な市の対策をお願いした  
い。また、施設によっては老  
朽化や耐震対策の心配、子供  
の大きなエネルギーを吸収で  
きない狭い面積、換気の問題、  
防虫対策等の衛生面における  
課題、利用者の多寡でプログ  
ラム運営に差があることなど、  
運営面で苦労がある。児童ク  
ラブを利用する保護者がふえ  
る傾向にある中、今日的な位  
置づけ、現状と課題について  
はどうなのか。

#### ◎市長

次世代の社会を担う子供  
たちが、健やかに生まれ育成

今年度、田尻、半田で定員  
を上回る申し込みがあり、田  
尻は夏休み利用を優先するこ  
とで調整、半田は七月から南  
半田の集会施設で臨時の児童  
クラブを開設して待機者全員  
を受け入れた。課題として  
入所を希望する児童の増加に  
対し、一部の児童クラブで施  
設的に限界があり、施設整備  
運営のあり方も含め、その整  
備についても検討していく。  
また、国では文部科学省と厚  
生労働省の放課後対策事業に  
ついて、「地域子ども教室推進  
事業」と「放課後児童健全育  
成事業」の連携が検討されて  
おり、具体的なおことはまだ示  
されていないが、今後それら  
の動向なども見極めながら、  
児童クラブの方向性を考えて  
いく。



### 「新柏崎」のキャッチフレーズは



持田 繁義 議員

- 一 「家庭」ごみの有料化」にかかわる課題について
- (一) 事業系一般ごみの分別と減量化を強めるべき
- (二) 生ごみ機の補助を引き上げ、生ごみの資源化
- (三) 減らせる根拠を明確に
- (四) 基本的な考えは柏崎独自のものか
- (五) 事業者の協力の徹底
- (六) 目的は自主財源確保か
- (七) 「処理費用の負担が公平」というのは、市民を信頼しない立場と思うが
- (八) 「こみゼロ都市宣言」(仮称)を実践すべき
- (九) 説明会は、「有料化を認めなさい」と押しつけてい

- るのではないか
- (十) 市民との意見交換を地道に時間をかけるべき
- 二 教育基本法「改定」問題について
- (一) 法律で「国を愛する態度」などの「徳目」の強制は、憲法に反する
- (二) 教育の自主性と自由が根底から覆され、「柏崎の教育 3・3・3 運動」に制約が持ち込まれる危険をはらんでいると考えるが
- (三) 小泉内閣が提出した「教育基本法改定案」に反対を表明すべきではないか
- 三 「海の柏崎」というキャッチフレーズは今日に合わないのではないか。「海と緑、ぬくもりのまち柏崎」(仮称)とした方がいいのではないか

「海の柏崎」というのは一部の地域の表現であり、ほとんどの地域は農村、山間地で実態に合わない。以前から感じていた。市町合併した「新柏崎」のキャッチフレーズを、実態にあわせた「海と緑、ぬくもりのまち柏崎」(仮称)とした方がいいのではないか。

#### ◎市長

「海の柏崎」というキャッチフレーズは、市内の幹線道路に設置されている観光サイン看板の中で用いられ、県外に広く認知されている。観光PRのキャッチフレーズは、地域の特徴や際立った魅力を一言で表し、人の心をとらえることが求められるので、合併によって一体となった両町の新たな山、海の魅力を付け加えて、どのような情報発信することが望ましいのか時間をかけて研究してみたい。

### 公共施設・学校の耐震調査



笠原 浩栄 議員

- 一 豪雪・積雪地域における冬季居住施設の設置と自治会・民生委員・消防団など連携した冬季防災委員会(仮称)を設立する考え
- 二 中越地震発生や頻発する余震を受け、建造物の耐震強度が課題となった。公共施設や学校などの耐震調査と対策の進捗状況について
- 三 広島・長崎に原爆が投下され、戦争での被爆国になり六十年が経過する。今日、世界で核兵器開発の拡大が懸念されている。この時期に柏崎市非核平和都市宣言を行う考えは

昭和五十六年に宮城県沖地震を契機に建築基準法が改正され、耐震基準が強化された。昨年度末に集計した文部科学省の調査結果で、新潟県の耐震診断の実施率三十三・五%、耐震強化率四十五・九%と全国平均を下回り、学校公共施設などは利用の性格を考えると今後も起こり得る地震対策は万全にしなければならぬと思う。中越地震を体験している市の今日までの対策の進捗状況と今後の方針はどうか。

◎市長  
耐震診断調査は、平成七、八年度の二カ年で十八施設を調査し、その結果に基づき二十施設の耐震性を推定して計三十八施設について耐震調査を実施した。学校施設では、耐震補強、あるいは、建てかえにより改修された施設は柏崎・米山・荒浜小学校の三施設、施工中が田尻小学校・第二中学校の二施設、今後対応していくのは枇杷島小学校他七施設である。その他の施設として中鯖石コミュニティセンター他九施設である。また、高柳町では、高柳町総合センターを今年度耐震診断する。耐震診断をしていないのは岡野町除雪車庫他六施設、西山町では、農村環境改善センターがしていない。これらの施設の今後の対応については、施設の統廃合を含めて、優先順位を決め、検討していく。







### 農業「品目横断的経営安定対策」



宮崎 栄子 議員

#### 一 柏崎男女共同参画基本計画・条例について

- (一) 条例に「柏崎的特色」はどう生かされるか
  - (二) 実効性はどうか盛り込まれるか
  - (三) 推進体制として「事業者」との連携をどう進めるか
- #### 二 農業「品目横断的経営安定対策」について
- (一) 認定農業者・集落営農組織化の現状はどうか
  - (二) 国の決めた「担い手」条件外の農家、地域への支援はどう考えていくのか
  - (三) 米価の行方と農業経営について

「品目横断的経営安定対策」という新たな政策は、今までの農政を根本から変え、これまで米、麦、大豆など品目ごとに行ってきた価格政策を廃止し、大規模経営と一定の要件を満たした集落組織に助成対象を限定する仕組みに変えるものである。

多くの農家は農業に対して、可能であれば農地を守り、兼業であっても農業を続けていきたいと思っているが、国の決めた担い手条件外の支援は、どのように考えるのか。

#### ◎市長

当市は、全体の九割が兼業農家であり、平均的な経営面積も一ヘクタール弱の状況であるので、いきなり四ヘクタールへの規模拡大は容易ではなく、小規模農家においても国の政策にとらわれることなく農業を続けていくことを希望する農家の皆様が多いことを承知しており、地域の農業を守っていただく上で大切な担い手と認識している。しかし、市独自で支援を行うことはかなり厳しい状況であり、小規模農家の皆さんが将来にわたり農業を継続していくことがますます困難な状況とな

ることが予想される。農地を荒らすことなく地域の農業を守っていくことを考えると、地域の農家が集まって組織される集落営農型や、少人数で組織する有志型の法人組織の設立など、平成十九年度にこだわることなく、粘り強く国の新しい政策に乗れる「担い手」への誘導を図っていき



### 柏崎の景観形成



若井 恵子 議員

- 一 柏崎の景観形成について
- 二 少子化対策の充実について
- (一) 放課後児童対策の充実について
- (二) 子ども課設置の効果について
- 三 防犯対策における現状と今後の取り組みについて

#### 美しい景観行政を目指す

自治体の取り組みは活発化しているが、景観条例や施策は特定の建物など点景だけに視線が集まり、市街地の緑やたまたまを含めた街並み、全体の品格、景観と緑の一体的な政策推進については弱く素晴らしい景色や美しい建築物は大切である。個性ある景観づくりに取り組み第一歩として公募による柏崎の美しい景観の選定やシンポジウムを開催するが、当市の景観形成に關してどのようなビジョンのもとに具体的施策を展開していくのか。

#### ◎市長

都市の再生・育成と利便性の向上を視点において、一定の都市機能が集積した「コンパクトシティ」の形成による持続可能な中心市街地の活性

化を図り、歴史的、伝統的な資源が数多くあり、これらの保存活用を図りながら活力と賑わいのある都市の顔づくりが重要である。このため、景観法の制定と合併による新市の景観を見直し、再発見も含めハードからソフト面まで幅広く、個性的で美しい景観の市民募集を行い、今年度の景観資源の市民調査を総合的に分析・整理し、景観の基礎資料として基本理念やビジョンを含んだ景観計画の策定に向けて、継続的に取り組んでいく。また、特に意欲のある地区については、法による景観計画区域としての景観づくりへの取り組みが積極的に行えるように考え、具体的なまちづくりについては、いろいろな意見があると思うが、現在策定中の第四次総合計画の中で集約されていく。







### 満州柏崎村の語り継ぎ



三井田 孝欧 議員

- 一 改正道路交通法の影響について
- 二 満州柏崎村の語り継ぎについて
- 三 教育現場におけるジェンダー意識について

良寛和尚辞世の句「裏を見せ、表を見せて、散るもみじ」からも「光」と「影」の両方を伝えることが歴史教育と考える。歴史を伝える日本の近代史は「満州に始まり、満州に終わる」と言われる。現在、柏崎市内にある満州柏崎村のことを伝える碑は、赤坂山にある「満州柏崎村の塔」、そして、柏崎青年会議所で設置し

た「まちしるべ」である。さる五月十四日から十九日まで旧満州柏崎村開拓団の跡地などを訪ね、故深田信四郎先生の著書や話だけでは分からなかった部分を体感できた。ソ連の参戦、軍人が民間人を狙うという卑劣な部分もしっかりと伝え、また、実験国家・満州での知見が戦後の日本にどのように活かされたのか、客観的に見つめることも歴史に対する真摯な態度であると思うが、生涯学習の意味でもぜひ、満州柏崎村のことを語りついでいただきたい。



#### ◎教育委員長

戦後六十年を経て、当時の悲惨な生活を体験した方々も高齢化してきている。戦争の悲劇を繰り返さないためにも、市民一人一人が身近な生活の中で「平和の尊さ」を考えていくことが大切であり、旧満州柏崎村に特化して教えることとはしないが、満州のことを語り継いでいきたい。



### 原発の耐用年数



矢部 忠夫 議員

#### 一 原発問題

- (一) 耐震指針改訂を受けての東電の地質調査
- (二) 原発の耐用年数についてなし崩し的に行われようとしている原発の六十年延長稼働の動きに異議を唱えるべき

#### 二 柏崎市国民保護計画

- (一) 市町村用計画モデル案をどう取り扱うか
- (二) 原発攻撃事態をどう取り扱うか
- (三) 今年度見直しの、原発防災計画との整合性
- (四) 市民等からのパブコメの対応(県計画策定時のパブコメの扱いに関連して)

#### 三 ごみの減量化

- (一) ごみの減量化の努力は十分か。まだやらなければならぬことは
- (二) リサイクル資源がどのように再製品化し流通しているか追跡調査をし、市民に公表周知すべき
- (三) 野菜くず、台所のごみ等生ごみの資源化(堆肥化)をまず進めるべき
- (四) 家庭ごみの有料化

原発の六十年稼働云々が、これまで推進してきた団体等

もおおよそ三十年稼働で議論してきたし、法体系もそうなっている。一号機も既に二十一年目に入る。なし崩し的な稼働延長に歯どめをかけるべきではないか。

#### ◎市長

発電所建設当初の説明では、発電所の寿命は三十〜四十年と言われていたのに、三十年を超えて運転するところが出てきたので、安全性の低下した、老朽化した発電所を運転して大丈夫なんだろうかという市民の声を聞くが、機器や構築物について、法律で定められた定期的な検査や点検を行い、経年劣化現象を的確に把握して、必要に応じて新しい技術や材料を使って適切な補修や取替えが行われている。

運転開始後三十年を迎えるプラントについては、高経年化対策の技術評価及び長期保全計画の策定を実施することになっているので、今後一号機で行う時期が来た場合には、三十年を超えて運転を継続することの安全性について、国及び事業者の説明を十分に求めていく。

# 市議会だより



## 第二中学校

### 「むつみ」新聞より

議員 中村 明臣

今春この世を去った同級生が生涯大切にしていたものがあつた。第二中学在籍中に発行された学校新聞「むつみ」である。その新聞を奥さんからお借りした。今月に予定されている同級会に持っていき、みんなに見せようと思つたからである。何気なく見た「むつみ」新聞の中に「テレビブームに思う」と題した、こんな記事を見つけた。私より一学年下の十三歳の投稿記事である。

「テレビは果たして私たちに良い影響を与えているのだろうか。先日、校長先生が『名犬ラッシー』（番組名）の中には責任ということが必ず入っている。アメリカではこうして子供達の教育にも役立たせている、というようなお話をされたが、僕はそうは思わない。先日、少年犯罪という少年よりまだ小さな子供が脅しの真似をしたという事件が起きた。これはTV、映画、雑誌などの影響が大きいのではないだろうか」と問題を

提起している。長文のため中略させていたのだが、原文のまま紹介する。

「こんな環境で少年犯罪が増えないのが不思議だと言いたい。少年犯罪をなくそうなどと言っていないながら、どうして身近にあるものに気付いてくれないのだろうか。気付いていないのなら、大人たちはどうして良い方法を考え、実行してくれないのだろうか。時代の流れには逆らえない。しかし、TVから悪質なものをなくし、良いものをドンドン出しても良い、TVの長所を大いに活用してもらいたい」と結んでいる。

五十年も昔のことである。「名犬ラッシー」と言えば時代が想像できるだろう。TVが一般化されて間もない頃である。

今、TVの害を訴える声は大きい。柏崎の教育界でも333運動が行われ、TVやゲームを控えるように訴えているが、効果の程はさだかでない。投稿者は(Y・S)とあつた。子供ながらに将来のTVの弊害を危惧していたのである。近年、TVの弊害は子供だけにどまらず社会全体に及んでいる。行政の強い指

導が待たれるときである。



## 議員寄稿

魚

議員 今井 元紀

柏崎の将来はどうあるべきか?のアンケートを取ると、多くの市民(五十%以上の人)は「海の柏崎」をキャッチフレーズにするべし、との答えが返ってくる。「海の柏崎」、合併後の柏崎の海岸線は端から端まで四十二キロメートルある。柏崎の観光事業に携わ

る関係者の方々は、春になると観光キャラバン隊を組んで長野方面にピーアールに出かける。本当に一生懸命に取り組んでいて頭の下がる思いがする。でも「海の柏崎」に遊びに来た家族連れが「柏崎で美味しい魚のたらふく食べる店を教えてください」と聞かれて困ることが時々ある。焼き魚、煮魚、刺身など魚料理を売りにしている専門店が、意外に少ない。「市内で魚を売っているところを教えてください」とか、「魚市場の近くに行けば魚が買えますか?」と聞かれて、何と答えたらいいのか困ることがある。「米山大橋のところ大きな魚店がありますよ」と答えても「ちよつと遠い」と言われてしまう。「市内にないんですか?」とスパーで買うしかないのだろうか。

人連れ、家族連れ、友人仲間と数人で、とさままだ。正確に統計をとっていないが、海水浴客以外で三十万人くらいの人々が来ている。こんなに大勢の人が柏崎に「釣り」に来てくれているのに、意外に知られていない。この市外からの釣り客は、柏崎のお客様である。このお客様に何かしてあげているだろうか。勝手に来て、勝手に帰っていく人達の扱いをしていないだろうか。幸い、合併によつて西山が柏崎になった。西山には釣り公園がある。

柏崎はもつと釣り客に目を向けて対策をとる必要があるのではないか。釣り場の安全美化、釣り情報、釣りに関するイベントなど。漁業者のためにヒラメの種苗を放流しているが、釣り客のためにも、この種類と数をふやすことはできないだろうか、などなど。「柏崎に来てくれれば、魚が美味しいですよ」、「いろいろな魚がたくさん釣れますよ」と、大きな声で言えるようにしなければ、と思うのです。

釣り客に目を向けて対策をとる必要があるのではないか。釣り場の安全美化、釣り情報、釣りに関するイベントなど。漁業者のためにヒラメの種苗を放流しているが、釣り客のためにも、この種類と数をふやすことはできないだろうか、などなど。「柏崎に来てくれれば、魚が美味しいですよ」、「いろいろな魚がたくさん釣れますよ」と、大きな声で言えるようにしなければ、と思うのです。

6 月定例会議決一覧

市長提出議案 table with columns: 件名, 議決状況, 議決結果. Includes items like 専決処分報告について(税条例の一部を改正する条例), 専決処分報告について(都市計画税条例の一部を改正する条例), etc.

議員提出議案 table with columns: 件名, 議決状況, 議決結果. Includes items like アメリカ産牛肉の輸入を当面再開せず、BSEの万全な対策を求める意見書(案), 出資法の上限金利の引き下げ等、

請願・陳情 table with columns: 件名, 議決状況, 議決結果. Includes items like 日本と同等の安全対策のない、アメリカ産牛肉の輸入再開に反対する請願, 30人以下学級の実現、義務教育費国庫負担制度の堅持を

※上記の請願のうち、議決状況欄が「みなし」とあるものは、これに対応した意見書(案)が議員から提出され、意見書(案)を先に採決しましたので、その議決結果をもって請願の採択・不採択が決定されたものです。陳情は、議会に報告するのみで、審議はしていません。

平成17年度政務調査費会計報告

柏崎市議会における会派が行う市政に関する調査研究に資するため必要な経費の一部として、議会の各会派に政務調査費を交付しています。平成17年度の各会派への交付確定額・支出状況は次のとおりです。(支出は主な科目)

- [整友会] (11人) 交付確定額 4,487,086円 (支出) 研究研修費 181万円 調査旅費 265万円
[市民クラブ] (2人) 交付確定額 761,785円 (支出) 研究研修費 19万円 調査旅費 55万円
[社会クラブ] (4人) 交付確定額 1,920,004円 (支出) 研究研修費 56万円 調査旅費 121万円
[柏崎のみらい] (3人) 交付確定額 1,423,238円 (支出) 研究研修費 45万円 調査旅費 64万円 資料購入費 13万円
[日本共産党] (3人) 交付確定額 1,437,935円 (支出) 研究研修費 48万円 調査旅費 32万円 広報費 36万円
[民友] (2人) 交付確定額 707,177円 (支出) 研究研修費 36万円 調査旅費 28万円
[公明党] (2人) 交付確定額 960,000円 (支出) 研究研修費 36万円 調査旅費 36万円 事務所費 18万円
[蒼生会] (2人) 交付確定額 720,001円 (支出) 研究研修費 24万円 資料作成 24万円 広報費 21万円
[エプロンの会] (1人) 交付確定額 233,885円 (支出) 広報費 17万円
[誠和政策研究会] (1人) 交付確定額 480,000円 (支出) 研究研修費 10万円 調査旅費 10万円 事務所費 20万円
[あさひ] (1人) 交付確定額 240,000円 (支出) 研究研修費 24万円
[平成会] (1人) 交付確定額 240,000円 (支出) 研究研修費 24万円
[新政会] (1人) 交付確定額 240,000円 (支出) 広報費 24万円
[じんぎ柏崎] (1人) 交付確定額 240,000円 (支出) 研究研修費 23万円





市議会本会議を  
インターネット中継へ

市議会本会議をインターネットで生中継(録画も)する補正予算が六月定例会に提出可決されました。  
九月議会から中継を開始する予定です。

九月議会の行程

- 九月定例会は次の行程で開かれる予定です。
- 9・7 本会議①議案審議
- 8 公企業決算特別委員会
- 11 本会議②一般質問
- 12 本会議③一般質問
- 13 本会議(予備日)
- 14 常任委員会審査
- 15 常任委員会審査
- 19 常任委員会審査
- 20 常任委員会審査
- 22 本会議④議案採決



永年勤続議員を表彰

このたび、次の五議員が永年勤続議員として表彰されました。

- (全国市議会議長会及び北信越市議会議長会)
- 勤続三十五年  
小池 寛
- 勤続十五年  
本間 厚幸
- 五十嵐直樹
- 今井 元紀

議会日誌

- 四月
- 3日 議会だより編集委員会
- 9日 齋木議員研修出張(山形市)
- 10日 文教経済常任委員会とJA柏崎との懇談会
- 11日 新潟県市議会議長会総会(三条市)正副議長出席
- 11日 吉野・武藤・丸山・梅沢・三井田議員海外視察(インド)
- 12日 齋木・吉川議員研修出張(名古屋)
- 13日 小平市議員視察来庁
- 20日 持田議員研修出張(東京)
- 20日 北信越市議会議長会総会(松本市)霜田議長出席
- 24日 議会インターネット中継検討会
- 26日 持田議員調査出
- 五月
- 2日 議会運営委員会
- 9日 日田市議員視察来庁
- 10日 上越新幹線活性化同盟会総会(新潟市)霜田議長出席
- 12日 全国原子力発電所所在市町村協議会総会等(東京)霜田議長出席
- 12日 真貝・遠藤議員研修出張(東京)
- 15日 東御市議員視察来庁
- 15日 若井(恵)・遠藤議員研修出張(東京)
- 16日 野田市議員視察来庁
- 18日 議会運営委員会
- 19日 新発田市議員視察来庁
- 22日 総務常任委員会視察(赤穂市、豊岡市)
- 24日 全国市議会議長会総会(東京)霜田議長出席
- 24日 建設企業常任委員会視察(金石市、石巻市)
- 26日 県市議会議長会要望活動(新潟市)霜田議長出席
- 29日 県特別豪雪地帯市町村議会協議会総会(妙高市)高橋副議長出席
- 29日 佐藤・飯塚・池田議員行政視察(横浜市、張(横浜市))

編集後記

柏崎もぎおん祭りよいよよ夏本番を迎えます。昨年は記録的な大雨による災害の傷跡も癒えない中での開催であり、最終日の花火も雨の中の打ち上げでした。

今年は今のところ関東方面などでは雨が続きなど晴れ間の少ないスッキリしない日々が続いているようですが、今のところ柏崎地方は雨も大したこともなく、昨年より過ごしやすいい日々が続いているようです。

今年の夏がぎおん祭りを皮切りに、災害のない活気に満ちた中で柏崎の夏本番を迎え、市民とともに多くのお客様に最高の思い出をプレゼントできたら良いですね。

(遠藤 清)

この議会だよりは古紙配合率70%、白紙配合率30%の用紙を使用しています。